

# 住人十色

第 170 回

## 自分らしさを大切に歩むピアノの道 先生と二人三脚で挑んだ初の全国大会

宮田 馨樂さん(大瀬中1年) 〓 鶴川 〓



◎小学3年生から通うピアノ教室にて。「おしとやかな曲よりも、本当は情熱系のほうが得意」と笑う宮田さん

「音楽教室MUSICA」でピアノの練習を重ねる宮田馨樂さん。昨年12月26日に神奈川県で開かれた「全日本ピアノコンクール2023全国大会」に出場し、奨励賞を受賞しました。「まさか行けると思わなかった」という初の全国で演奏したのは、フォーレの『シシリエンヌ』という作品。「心地よく流れるような曲で、川を舟で漂うイメージ」と話します。大きな緊張はなかったといい、「どんな結果でも、いい経験。練習したという事実は変わらないから」と前を見据えます。

宮田さんはシンガポールに住んでいた3歳の頃にピアノを始めました。「楽譜を読むのは苦手。でも弾き慣れて曲想がつけられるようになると楽しい。スイッチが入ると時間を忘れて弾いてしまう。気分が乗らないときは全然だけど」と笑います。教室で指導する姉川里さんは、宮田さんについて「視野が広く感覚が鋭い。守りに入らずに自分の弾きたいことを言葉にできる子。意見を交わしながら、二人で曲を作っていくのが理想」と話します。最後に宮田さんは「もっと演奏の幅を広げたい。深み、楽しさ、明るさなど、何色もの音色を出せるようになって、自分を表現する納得の演奏がしたい」と、飾らない笑顔を見せてくれました。

### 編集 幸記

▽県広報コンクールでの特選の報告に、驚きとうれしさでいっぱいです。受賞は出てくれる皆さん、いつも応援してくれ、皆さんのおかげです。本当にありがとうございます。これも町の皆さんの役に立つ広報紙を目指して頑張ります(史)  
▽20歳の記念式は、取材ではなく出席者として参加しました。高校時代と一緒に過ごした友人と再会。あの頃と変わらない生きの良さに安心したと同時に「次会えるのはいつだろう」とほんの少しだけ寂しくなりました(花)

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の  
フリーダイヤル  
☎0120(44)2130

